

報告日 令和7年11月18日
報告回次 1回目

令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	高浜町			代表者名	西嶋 久勝
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	総務課DX推進室	連絡先電話番号	0770-72-1111
担当者役職	課長補佐	担当者氏名	高田 敏浩	連絡先E-mail	
住所	919-2292 福井県高浜町宮崎第86号23番地2				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名	連絡先部署
担当者氏名	連絡先電話番号

1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修（単独）	事業名	生成AI活用研修事業
概要	町職員のへの研修を行うことにより、ワークショップ形式でのAI利活用研修		
支援を求める分野	人材（DXに関する知識習得・研修・育成） EBPM（エビデンスに基づく政策立案） AI活用 生成AI活用		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	有	735	令和7年11月14日	事前打合せ	オンライン
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和7年11月13日	事前打合せ(オンライン)	16時00分	17時00分	
				活動時間（分）	60
2-2. 派遣場所	会場名	オンライン		最寄駅	オンライン
	所在地	オンライン		最寄駅からの交通手段	オンライン

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	竹中 忍
評価	良い
上記評価の理由（どのようなところがよかったです等詳細に）	ワークショップ開催前の事前準備として、目的、方向性、ゴールの共有ができたこと。当日のチーム分けに関する効果的な助言をいただいた。
アドバイザーへの要望事項	現時点では特になし

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】			合計人数	2人		
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)		
		人数	2				
4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果							
事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	事前打ち合わせの段階において方向性の再確認と全体の運用がより明確になった。						
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	AI活用スキルの向上により業務運用への定着とディレクション力の強化						
アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	セミナー当日の進行の流れ。ワークショップ班分けの提言。参加者への事前準備の周知。						

支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	事前打ち合わせの段階にあり特になし	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
事前打ち合わせの段階にあり特になし		
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特になし	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。（EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。） アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。	セミナー実施後の対応になるため現時点では特になし
4-3. 今後の計画	最も当てはまるもののリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
	単発ではない継続的、多面的な研修を実施予定	
4-4. 事業の最終的な目指す姿	府内外の連携による持続可能なデジタル化推進モデルの確立	

5. 報告書に関する地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載可

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good_practices/past_year_all_houkoku/

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG等）」を数枚程度貼り付けて下さい。

